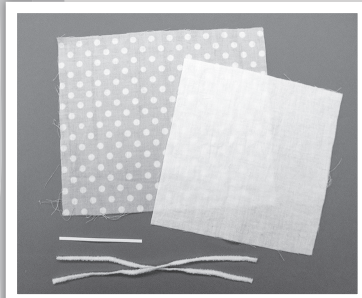


“ない”なら
自分で作って
みない？

My マスクで感染予防

新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防には、マスクや手洗いなどが有効なものの、全国でマスクの品薄状態が続いています。

“ないなら作ろう、自宅のできるマスクの作り方を紹介しちゃいます！



<準備するもの>

▼表布(ガーゼ)…サイズ(横23×縦19cm)

▼裏布(ガーゼ)…サイズ(横17×縦19cm)

▼ワイヤー…1本

※使い捨てマスクのノーズワイヤーを再利用でもOK)

▼ゴムひも…24cm×2本

※使い捨てマスクのゴムひもを再利用でもOK)

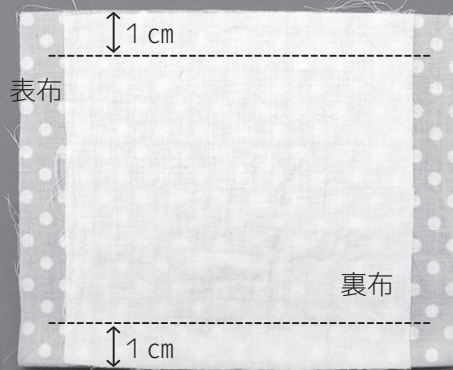
①表布の上に裏布を置き(中表に合わせ)、上下の縫い代(1cm)を縫う。

※点線部分



②表布と裏布の重なった部分を開き裏返す(外表に返す)。

STEP1



手作りマスクの作り方

完成サイズ横14cm×縦9cm

START

STEP2



①マスクの上側を8mm程度の縫い代で縫う。縫った後、中にワイヤーを通す。

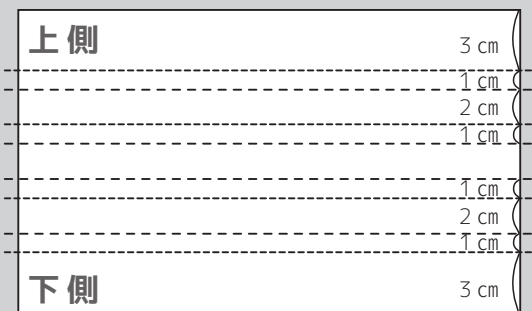
②下側も2~3mm程度の縫い代で同じように縫う。

③縫い終わったら、表布と裏布の重なった部分を開きもう一度裏返す(中表に返す)。

STEP3

①下図のように山折りと谷折りを交互に行い、表布を蛇腹に折りたたむ。

-----谷折り
-----山折り



ガーゼ以外にも木綿やブロード素材でもOK! 手芸店でGETできるよ。ぜひ、お試しあれ!

STEP4



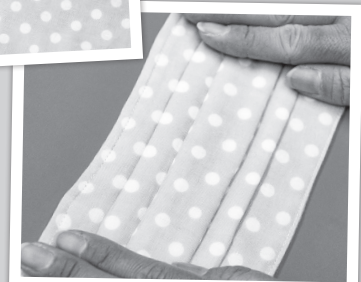
①両端をそれぞれ2回折りたたみ縁を縫う。

②ゴムひもを通して完成



②折り込んだ部分にアイロンをあて、折り目をつける。

※すべて折り目をつけると、右図のようになる。





男女共同参画の推進に貢献

つくしんぼの会が鳥取県西部地区
町村社会教育協議会長表彰を受賞



受賞を喜ぶつくしんぼの会の皆さん

2月16日、第11回鳥取県西部地区町村社会教育研究大会が、大山町で開催され、男女共同参画推進会議ひの（つくしんぼの会・山根美奈子会長）が、鳥取県西部地区町村社会教育協議会長表彰を受賞しました。

同会は平成15年の発足以来、長年にわたり男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな取り組みを進めてきました。一昨年には、家庭や地域、職場で感じたことを五・七・五の標語に表し、男女共同参画について楽しく学んでもらおうと「共同参画かるた」を作成。地域やグループ活動などで活用されています。今回の受賞は、そうした人権啓発活動が続けてきたことが評価されたものです。

男女共同参画を親しみやすい「かるた」で「かるた」で楽しく学んじやおう！



町および男女共同参画推進会議ひのでは、男女共同参画かるたを随時貸し出しています。地域や職場などでの学習・研修にぜひご利用ください。

かるたの貸し出し / 役場企画政策課で借りることができます。
▼読み札 ▼絵札（大・中・小）
※大：A4 サイズ、中：A5 サイズ、小：はがきサイズ
作成 / 男女共同参画推進会議ひの（つくしんぼの会）
貸出および問合せ先 / 役場企画政策課
（電話 72-0332）

まちを訪れる人が笑顔になれるように

町観光協会が収益金の一部を寄付



町長を囲み笑顔を見せるスタッフの皆さん

2月25日、一般社団法人日野町観光協会（小谷澄男会長）が、令和元年度の日野町観光物産館金持神社札所（売店）および金持テラスひの・宝くじ売り場の収益金の一部300万円を町に寄付しました。

町役場で行われた贈呈式では、小谷会長ら協会役員やスタッフらが、塔田町長に寄付金を手渡しました。「まちを訪れる人が笑顔になれるよう役立ててほしい」と小谷会長。塔田町長も「皆さんの思いを大切にしながら、観光振興に活用したい」と感謝の気持ちを伝えていました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第80回

広重も描いた「ほととぎす」

続きも続いたり、このコラムも今月で80回を迎えました。未広がりの「ハ」を十回重ねるといふ、誠におめでたい今回は、おめでたい地域行事のお話を。

菅福地区で近年復活した、「ほととぎす」という奇習を、テレビや新聞で目にした方も多いと思います。

これは、小正月に地元の男性らが蓑・笠姿の「ほととぎす」に扮して厄年を迎えた人の家を訪問し、お礼の品を受け取った帰り道に家人がほととぎすを描いていきます。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会